

一般会計 110億3,120万円



東八まちなか交流センター

「予算」ってご存知ですか。簡単に言うと皆さんが納める税金の使い道です。

平成17年度の豊前市予算は「施政方針」(2~4ページ)で紹介しました事業の推進をめざしています。

また、財政事情が大変厳しいので、効率的な運営や経費の節減を考えて予算をつくりました。

17年度の予算額は、一般会計が110億3,120万円で対前年度比5.6%減となっています。特別会計を含む総額では207億3,597万円で同2.4%減となっています。

全会計予算額

(単位:万円、%)

区 分		17年度	16年度	増 減	伸 率
一 般 会 計		110億3,120	116億8,110	△ 6億4,990	△ 5.6
特 別 会 計	国民健康保険事業	31億0,964	31億0,654	310	0.1
	老人保健	46億5,217	45億5,085	1億0,132	2.2
	住宅新築資金等貸付事業	2,518	2,646	△ 128	△ 4.8
	農業集落排水施設事業	3,487	3,494	△ 7	△ 0.2
	公共下水道事業	8億3,972	7億4,691	9,281	12.4
	公共用地先行取得事業	1,000	1,000	0	0.0
	豊前市営駐車場事業	850	900	△ 50	△ 5.6
	豊前市バス事業	3,470	3,485	△ 15	△ 0.4
企 業 会 計	水道事業	9億8,018	9億6,734	1,284	1.3
	東部地区工業用水道事業	981	7,522	△ 6,541	△ 87.0
総 額		207億3,597	212億4,321	△ 5億0,724	△ 2.4

予算の種類 市の予算には、3種類あります。それぞれの予算(使い道)にそれぞれの財布があるというようなものです。

一般会計 一般会計は、皆さんが納めた税金や国、県からの補助金などを財源として、福祉や教育、道路整備などを行うための基本的な予算です。

特別会計 特別会計は、国民健康保険事業や下水道事業など特定の事業を行うための予算です。豊前市には8つの特別会計があります。

企業会計 地方公営企業法の適用を受けた企業会計として水道事業会計と工業用水道事業会計があります。

一般会計予算の概要

歳入 市税はたばこ税や個人市民税が減少するものの、固定資産税が伸び、市税全体で1.2%（3,435万円）の増を見込んでいます。また、三位一体改革で税源移譲される所得譲与税が5,400万円程度増額となる見込みです。

- 一方、国庫支出金は総額で前年度比1億6,997万円の減が見込まれています。

歳出 少子・高齢化対策費の増により民生費が2.5%（9,511万円）増え、市制50周年記念事業等の実施により総務費が3.3%（3,868万円）の増となっています。

- 一方、赤熊南土地区画整理事業がピークを過ぎたことから土木費が23.0%（3億5,922万円）の減となっています。また、減税補てん債の借換がなくなり、公債費は23.0%（4億3,964万円）の減となっています。

歳入

自主財源 (42.1%)		依存財源 (57.9%)		
市税 30億2,165万円 (27.4%) 市の課税権に基づいて賦課徴収する税金で、皆さんから直接納付される住民税や固定資産税等です。	繰入金 8億5,541万円 (7.8%) 基金より取崩しを行うものです。	地方交付税 31億7,000万円 (28.7%) 国税として徴収した所得税、法人税、酒税、消費税などの一定割合が市の財政状況に応じて配分されます。	国・県支出金 18億7,224万円 (17.0%) いろいろな事業に対する国・県からの補助金などです。	市債 5億9,880万円 (5.4%) 長期の借り入れ資金です。
分担金及び負担金、使用料・手数料、財産収入など 7億6,430万円 (6.9%)		地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金、利子割交付金など 7億4,880万円 (6.8%)		

歳出

性質別歳出分類

義務的経費 (54.5%)		投資的経費 (10.0%)		その他の経費 (35.5%)		
人件費 21億2,751万円 (19.3%) 市長、市職員等の給与退職金、議員・各種委員の報酬などに使います。	扶助費 24億1,558万円 (21.9%) 生活保護、児童、老人、障害者の方を援助するために使います。	公債費 14億6,975万円 (13.3%) 市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。	普通建設事業費等 10億9,997万円 (10.0%) 道路、公園、学校など、将来に残る施設を建設するために使います。	補助費等 13億1,229万円 (11.9%) 一部事務組合負担金や各種団体への補助金などに使います。	物件費 11億3,026万円 (10.2%)	繰出金 12億9,623万円 (11.8%)
投資出資及び貸付金、維持補修費、積立金など 1億7,960万円 (1.6%)						

目的別歳出分類

民生費 39億8,291万円 (36.1%) 高齢者、障害者、児童、生活保護者の方の社会福祉事業のために使います。	公債費 14億6,975万円 (13.3%) 市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。	土木費 12億0,086万円 (10.9%) 道路、橋、公園、市営住宅などの維持管理、整備のために使います。	総務費 11億9,454万円 (10.8%) 市役所の一般的な事務経費や選挙、まちづくりなどに使います。	教育費 9億2,841万円 (8.4%) 小・中学校、体育施設などの維持管理、整備のために使います。	衛生費 8億1,882万円 (7.4%) ごみ、し尿処理、保健衛生などに使います。	農林水産業費 5億7,076万円 (5.2%)
議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など 8億6,515万円 (7.9%)						

平成17年度の主な事業

(単位:万円)

総務費

薬師寺地区住宅用地造成事業	4,770
市制50周年記念事業	2,620
国勢調査費	1,298

民生費

身障者支援事業	1,350
放課後児童クラブ設置事業	3,749
老人福祉センター施設整備補助金	183
特別保育事業費等補助金	6,378
病後児・子育て支援センター費	1,551

衛生費

合併浄化槽設置事業補助金	2,841
花と緑のまちづくり事業	157

農林水産業費

競争力ある土地利用型農業育成事業	1,100
ふるさと農道緊急整備事業	1,040
第2豊築線改良事業	1,500
広域基幹林道豊築松尾線開設事業	1,746
中山間地域直接支払事業	3,863
森林整備地域活動支援交付金推進事業	810

商工費

TMO計画策定事業補助金	742
工業団地企業立地促進交付金	1,439

土木費

市道整備一般単独事業	1億4,232
八屋・求菩提線道路改良事業	1億1,500
四郎丸・野田線道路改良事業	3,000
赤熊南土地区画整理事業	1億6,904
上町団地建替事業	3,110

消防費

消防自動車購入費	1,680
----------	-------

教育費

三毛門小学校教室増築事業	3,290
学校教育支援補助員設置費	1,074
小学校空調設備リース料	589
野球場フェンス修繕費	430
山田地区学習等供用施設整備事業	590
求菩提山史跡整備事業	2,290



東部工業団地

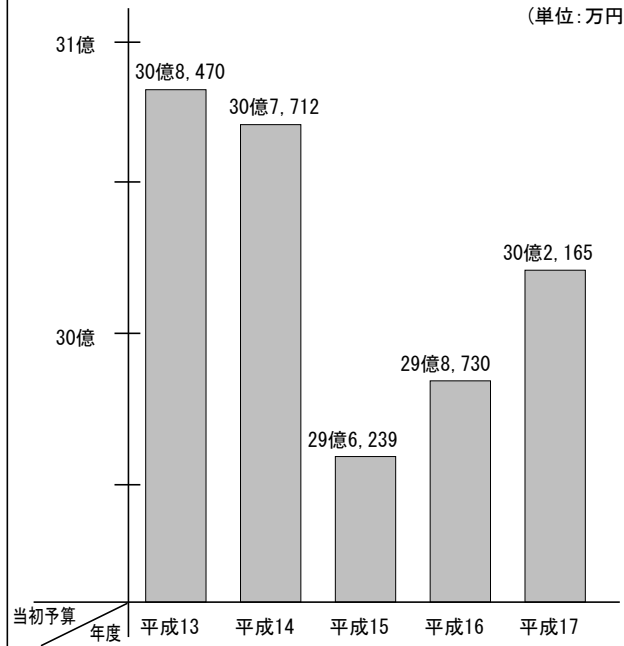
市税30億2,165万円

(市税の内訳) (単位:万円) (伸率%)

市民税	10億3,869	△0.1
固定資産税	17億7,196	2.9
軽自動車税	5,500	0.4
市町村たばこ税	1億5,600	△8.8

市税の推移

(単位:万円)



予算用語解説

歳入と歳出

これは一般家庭の収入と支出にあたるもので次のような性質や目的に分類されます。

自主財源と依存財源

歳入(収入)でよく使われるのが「自主財源」と「依存財源」です。自主財源は、市税のように市が自主的に調達できる財源です。

自主財源の比率が大きいほど行政の自主性が確保されます。

一方、依存財源は、国や県の意思により定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源です。

性質別分類と目的別分類

歳出(支出)の見方として予算を使った性質ごとに分類した性質別分類と使う目的ごとに分類した目的別分類の二つがあります。

性質別分類は、市の財政運営や経済的機能状況を知ることができます。目的別分類は、どのような事業にいくら使うかを知ることができます。